

うだぢから

「うだぢから」とは、宇陀に由来からある地域コミュニティの力(宇陀力)のことです。このコーナーでは、市が取り組む「まちづくり」や NPO 団体などを紹介します。
問 政策推進課 82・3910/IP 88・9094

1 子どもから大人まで 楽しみました

伊那佐地区まち協

7月27日、地域交流イベント「いなさの夏祭り、集まれちびっこ」を旧伊那佐幼稚園で実施しました。当日は朝から気温が高くなっていったので、ミニマルシェやワークシヨップへの参加者に冷やした飲み物を渡し、熱中症対策を行いました。教室内では「紙トンボ」や「うちわづくり」のワークシヨップを行い、スタッフに教えてもらいながら子どもたちが一生懸命に手づくりしました。また、



▲百歳目指して！

百歳体操教室では若い方も参加し、椅子に座って行う体操で汗を流しました。

屋外では女性チームが「涼やかなソーメン」を参加者の方たちに振舞いました。また、綿菓子を持った子どもたちのうれしそうな顔も見えました。隣では地元産の新鮮な夏野菜や大きなスイカ、焼き立てのパンも販売しており人気でした。約70人の参加者には、暑さを忘れて夏のひと時を過ごしてもらいました。



▲楽しいね

2 室生地域の夏祭り

室生地域各まち協

8月中旬のお盆の時期に、各まち協の主催または共催にて「夏祭り」を室生地域の(三本松11日、向測12日、室生15日、笠間17日、西谷18日、大野18日)で開催しました。



▲三本松まち協

三本松地区は、シャボン玉や和太鼓演奏等の催しをメインに会場を盛り上げました。向測地区は、お寺参りで供養を終えてから会場へ向かい、会場にて飲食とともに賑わいました。



▲向測地区まち協

室生地区は、これまでコロナ禍により打ち上げ花火のみでしたが、今年には催しや飲食を復活させました。



▲室生地区まち協

笠間地区では地域が団結し、連携がとれた出店が多く、また抽選会などもあり賑わいました。



▲笠間地区まち協

西谷地区は、昼過ぎに開催し、地域の方による大正琴やカラオケ大会に加え詐欺講習会を実施しました。



▲西谷地区まち協

大野地区は、食事券の無料配付、救護テントの設置、スタッフへの水分対策など、体調にも気を配りながら実施しました。

どの地域からも、「高齢化が進み若い世代がいない。子どもがいない。さみしい」「年一回でもこんな機会があれば帰省してくれる。やっぱりうれしい。元気が出る」などの声が聞かれました。

こうした声に、各まち協では「どんな形でも良いので続けていかないと、地域に元気がなくなる」と考え、今後も夏まつり以外にも、交流を図り、地域が一丸となって事業を継続して行こうと思います。



▲室生大野まち協



ゴマ

ゴマは、体によいセサミンが含まれているので、近年よく宣伝されている有名な植物です。ゴマの葉は美味しいので虫害を受けやすく、葉を全部食べられてしまうこともあるのです。虫に食べられる前に若葉を採取して、おひたしにして食べたり、乾燥させてゴマの葉茶とするのもよいでしょう。特に便秘がちの人にはお勧めです。また、ミネラルも多いため、いつも疲れを感じ

じたり何をするもおつくうな人は、ぜひとも食べてみてください。ただ、体にいくらよいといっても、油分が多いため、食べ過ぎると軟便になったり、下痢をしたりすることもあるので、一皿程度にしておきましょう。種子を生食または一日5g〜10g煎じて服用すれば滋養強壮、解毒剤となるほか、神経衰弱、のどの腫れに効果があります。



薬草道遙(やくそうしやうしやう) 毎回「薬草」に関わる内容を連載でお届けするコラムです。

※当市で「薬草活用講演会」をしていた村上光太郎先生の連載より一部抜粋

問 商工業課 82・5874 / IP 88・9075